

東京都青梅市に「LINE を活用した粗大ごみ収集の申込受付ツール」を提供開始

循環型社会に向けた粗大ごみ収集申込のオンライン化

transcosmos online communications 株式会社(本社:東京都豊島区、代表取締役社長:貝塚 洋)は、2025年2月10日より東京都青梅市(市長:大勢待利明)に対し、LINE を活用した粗大ごみ収集の申込受付ツール「KANAMETO ECO(カナメト エコ)」を提供開始し、青梅市 LINE 公式アカウントにおける粗大ごみ収集申込の受付開始を支援しました。

【青梅市 LINE 公式アカウントにおける粗大ごみ収集申込手順のイメージ】



青梅市で排出される粗大ごみは「青梅市リサイクルセンター」で再資源化が行われており、循環型社会の構築に向けごみの減量化と再資源化を推進しています。

青梅市では「粗大ごみ」の「自宅収集」を実施しており、今までは電話で申込を受付けていましたが、粗大ごみ収集申込のオンライン化を図る手段として、多くの住民が利用する身近な存在となった「LINE」を活用するため、「KANAMETO ECO」を導入しました。

■青梅市における粗大ごみ収集の申込受付のオンライン化におけるポイント

青梅市では、LINE を普段利用しない住民からの申込も考慮し、「LINE からのオンライン申込」と「従来の電話からの申込」それぞれに受付枠を設け、特定の住民へ不利益が集中しないように設計されています。

また、昨年末 KANAMETO ECO に追加実装された「ピン留め機能」も活用し、住民が粗大ごみ収集申込を行う際に「粗大ごみの排出場所」を地図上にピン留めすることで、収集時、住所情報だけでは具体的な排出場所が判断しづらい場合も排出場所を探す手間を省き、収集業務の効率化も期待されます。

KANAMETO ECO は、230 以上の地方自治体で導入されている LINE を活用した行政の DX ツール「KANAMETO」の新機能です。今後も transcosmos online communications は、KANAMETO の機能拡充を通じて行政の DX を加速させ、地方自治体と住民

のコミュニケーション活性化を支援してまいります。

(KANAMETO ECO について)

「KANAMETO ECO」は、LINE ヤフーコミュニケーションズ株式会社と transcosmos online communications 株式会社が共同企画し 2024 年 1 月から提供開始した粗大ごみ収集の申込受付ツールです。LINE ヤフーコミュニケーションズと福岡市が締結している「地域共働事業に関する包括連携協定」に基づき、2019 年より本格稼働している「福岡市粗大ごみ受付 LINE 公式アカウント」をモデルに開発されたクラウドサービスです。導入自治体の住民は、自治体等が運用する LINE 公式アカウントを通じて、24 時間 365 日、オンラインで収集申込ができます。また、PayPay とクレジットカードによる粗大ごみ処理手数料のオンライン決済に対応しています。(URL: <https://kanameto.me/eco/index.html>)

(transcosmos online communications 株式会社について)

transcosmos online communications 株式会社は、トランスコスモス株式会社と LINE 株式会社(現 LINE ヤフー株式会社)の合弁会社として、2016 年 5 月に設立されました。2017 年 10 月には米国セールスフォース・ドットコムの子会社である Salesforce Ventures から出資を受けています。LINE のプラットフォーム・ユーザー基盤とトランスコスモスの営業・開発力を活かし、行政と住民のより良い関係構築を実現する様々なソリューション・サービスの提供に向けて取り組む GovTech(ガブテック)ベンチャーです。2017 年 9 月には LINE を活用した行政の DX ツール「KANAMETO」を開発、販売を開始しています。(URL: <https://transcosmos-online.com/>)